

事業所名

児童発達支援センターあゆむ いいで (児童発達支援)

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

26日

法人(事業所)理念	ノーマライゼーション(共生社会)の理念のもと、「ここで生まれ、ここで育ち、ここで暮らす」そんなあたりまえのことがあたりまえにできる地域社会に……。 「特別」を「特性」や「個性」としてとらえ、互いに支え合う地域社会に……。 「特別」が「あたりまえ」になる地域社会に……。 私達は、そんな地域社会づくりに貢献していきます。							
支援方針	地域の障がいのある未就学児の療育支援及び児童生徒の放課後の学童支援。また、その幼児・児童・生徒の保護者に対しての相談支援、幼児施設や学校等への訪問支援等、児童生徒の社会参加のために必要だと思われることを支援する。							
営業時間	8時	30分	17時	15分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握のため、利用開始時に保護者からの情報収集と視診を行う。 その日の状況等を確認しながら、個々が興味・関心のあるあそびにじっくりと向き合い没頭して楽しむことができるよう、支援環境やあそびの設定などを工夫する。 日常生活のさまざまな場面を通して個々の発達段階に合わせてながら、生活する力の増幅につながるよう支援する。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 指先を使用するあそびや、大型遊具を活用した体を使ってのあそびなど、設定を工夫しながら、運動動作機能や感覚機能の発達の向上につながるよう支援する。 実際に、触れる、近くや遠くから観察する、匂いや口元の感覚など、支援者の見守りの元で安全に配慮しながら十分に体験し、発達の促進につながるよう支援する。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 視線を合わせてやりとりを意識しながら一緒にあそびを楽しみ、さまざまな思いに共感し、相手を意識したり求めたりすることができる姿につながるよう支援する。 さまざまな活動の場面で、選択と判断がしやすいように選択肢の提示をし、自己選択と自己決定をしながら、自ら活動に向かう意欲につながるよう支援する。 興味、関心のある活動(あそび)を十分に楽しみ、達成感や成就感を得ながら個々の自信につながるよう支援する。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心のある活動(あそび)や、支援者やともだちとのかかわりの中で、分かりやすくかんたんなことばで代弁し、活動や場面に則したことばをたくさん耳に入れ、ことばでの表現につながるよう支援する。 支援者が仲立ちをして思いを十分に受け止めて共感し代弁する。どうすれば良いか、どう考えるかを知らせながら一緒に考え、繰り返し経験を重ね、ことばでの表現や気持ちの切り替えにつながるよう支援する。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 支援者やともだちとのかかわりの中で、場やあそびの共有をし、やりとりや一緒にの楽しさに触れながら、相手への意識につながるよう支援する。 興味・関心のあるあそびを十分に楽しみ、達成感や成就感を得ながら個々の自信につながり、気持ちの切り替えや、さまざまな活動(ともだちとのかかわりや集団での活動など)に向き合う力につながるよう支援する。 						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 家族や保護者の相談に応じる体制を整える。 必要時に適切な声掛けをする。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 本児の次のステージを見据え、保護者の希望や思い、事業所側から見る現在の様子等を調整しながら、適切な移行を可能にするため対応する。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 本児を取り巻く関係機関や医療機関等との情報交換と共有を行い、密な連携を図る。 地域の自立支援協議会に参画する。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 日々のOJTを有効に活用する。 外部研修を効率よく活用し、伝達研修を確実にを行い職員の資質向上を目指す。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士のつながりやその高まりを目指し、定期的に「家族の集い」を開催。 							